

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

RPPC に関連する発表は、特にございません

■RPPC 事務局からのお知らせ

- 1.H28 年度第 2 回循環資源利用促進部会の開催について(4 月 11 日)
- 2.H28 年度第 3 回汚染土壌事業化 PT の開催について(4 月 18 日)
- 3.H28 年度第 3 回調査・研究部会の開催について(4 月 18 日)
- 4.RPPC H28 年度第 2 回広報部会の日程について (4 月 19 日)
- 5.東京工業大学 2017 年度「理工系一般プログラム」開講のご案内について

■リサイクルポートに関連する最新の情報

- 1.名古屋港浚渫土砂処分、中空沖のアセス方法書公告・縦覧(4 月 3 日)

- 2.横浜港に新たな大水深ふ頭計画、環境配慮書をパブコメ(4 月 3 日)

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

- 1.H28 年度第 2 回循環資源利用促進部会の開催について

本年度第 2 回循環資源利用促進部会を下記のとおり開催致します。

日時：2017 年 4 月 11 日（火）午後 3 時～

場所：みなと総研 3 階会議室

部会員の皆様におかれましては、ご多忙中とは存じますが、  
ご参集お願いいたします。

出欠について事務局に返信お願い致します。

2. H28 年度第 3 回汚染土壌事業化 PT の開催について

本年度第 3 回汚染土壌事業化 PT を下記のとおり開催致します。

日時：2017 年 4 月 18 日（火） 13 時 30 分～15 時

場所：みなと総研 3 階会議室

部会員の皆様におかれましては、ご多忙中とは存じますが、  
ご参集お願いいたします。

出欠について事務局に返信お願い致します。

**3.H28 年度第 3 回調査・研究部会の開催について**

本年度第 3 回調査・研究部会を下記のとおり開催致します。

**日時：2017 年 4 月 18 日（火）午後 3 時～**

**場所：みなと総研 3 階会議室**

部会員の皆様におかれましては、ご多忙中とは存じますが、  
ご参集お願いいたします。

出欠について事務局に返信お願い致します。

**4.RPPC H28 年度第 2 回広報部会の日程について(4 月 19 日)**

H28 年度第 2 回広報部会を下記のとおり開催致します。

**日時：2017 年 4 月 19 日（水） 10：30～12：00**

**場所：みなと総研 3 階会議室**

部会員の皆様におかれましては、ご多忙中とは存じますが、  
ご参集お願いいたします。

出欠について事務局に返信お願い致します。

※出欠に関しましてはなるべくお早目にご連絡ください。

**5.東京工業大学 2017 年度「理工系一般プログラム」開講のご案内について**

リサイクルに関する講義につきましてご案内致します。

添付ファイルご覧ください

=====

**◇リサイクルポートに関連する最新の情報**

**1.名古屋港浚渫土砂処分、中空沖のアセス方法書公告・縦覧**

中部地方整備局港湾空港部は3月 29 日付で、  
「中部国際空港沖公有水面埋立事業」環境影響評価方法書の公告、  
ならびに縦覧手続きを開始した。

4月 28 日まで国交省中部地方整備局、愛知県、常滑市等で縦覧し、  
中部地方整備局港湾空港部のホームページにも載せている。

中部空港隣接海域を対象に区域面積約250～350haを計画、  
受入容量として約3800万立方mを予定している。

工事は全体の埋立区域を複数に工区分割し、  
早期に受入が可能になるよう工区毎に護岸及び埋立工事を行う。

埋立地の計画容量3800万立方mの内訳は、

当面の20年間を想定した土量として、  
港湾機能の強化や維持により発生する土砂約1200万立方m、  
ポートアイランド仮置き土砂の撤去2000万立方mとして  
合計3200万立方m。

またその後の中長期的に必要な港湾機能の維持により  
発生する土砂600万立方m。

(維持浚渫 30万立方/年×20年)として算出している。

工事工程は護岸工事を事業開始後20年間にわたって段階的に実施。  
また埋立工事は最初の護岸囲いが出来る2~3年後から開始し、  
工事で発生する浚渫土やPIの仮置き土などを順次受入れていく。

【港湾空港タイムス】

## 2.横浜港に新たな大水深ふ頭計画、環境配慮書をパブコメ

横浜市と関東地方整備局は、  
横浜港新規ふ頭公有水面埋立事業計画段階環境配慮書の  
パブリックコメントを4月24日まで実施している。

同事業は国際コンテナ戦略港湾として、  
基幹航路を初めとするコンテナ船の大型化や港湾貨物量の増加に対応するため、  
大水深・高規格コンテナターミナルと高度な流通加工機能を有する  
ロジスティクス施設を一体的に配置した新たな臨海部物流拠点を形成するもの。  
公有水面の埋立面積は約140ha。

位置は大黒沖、本牧沖、金沢沖の3海域を設定している。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者:RPPC 広報部会

部会長:

部会員:山崎 和宣 五洋建設(株)

安藤 彰 東京都

梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター

新谷 聡 りんかい日産建設(株)

青木 信裕 新日鐵住金(株)

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団(内) 担当:本野、清水、菅木

URL: www.rppc.jp E-mail: rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報があ  
りましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致  
します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。